

## 2. オリンピックスタジアム運営会社（OAKA）



<メインスタジアム>

### <基本データ>

収容人数は75,000人。元々は1982年に開かれたヨーロッパ陸上競技選手権大会のために建設された。現在、プロサッカーチームのAEKアテネとパナシナイコスホームスタジアムとなっている。

### 調査目的

アテネオリンピックメインスタジアムを含む、各オリンピック施設を管理しているOAKA（アテネオリンピック・スポーツ・コンプレックス）において、施設内容、運営状況について説明を受けた。



<スタジアムの説明を受ける>

## 調査結果

メインスタジアムは、現在サッカーの代表戦やプロリーグの試合、コンサート会場などとして有効に活用されている。また、メインスタジアムに隣接している水泳競技場も多くの市民に活用されているとのことだった。

一方で、メインスタジアム周辺に水泳競技場をはじめテニスコート、各種体育館等の競技施設を配置したために、最寄駅から一直線で各施設にたどり着けず不便なため、利用者からはいささか不評であるようだ。バス車上からの視察であったが、各種施設、構造物が入り混じっており、アクセスの悪さは容易に想像ができた。こうした反省は東京五輪の設計の際にも活かしていくべきと感じた。

OAKAの代表は、メキシコオリンピックに出場したメダリストであり、ギリシャスポーツ界の伝説的な英雄である。2004年のアテネオリンピックでは、聖火リレーにも参加されたようである。



<OAKA役員と>



<OAKA代表者のアテネオリンピック入場行進、聖火リレー>